

多変数の微分積分学 2 問 11 解説

桂田祐史

2007年12月13日, 12月20日

問 11. (1) $e_1 = (1, 0, 0)^T$, $e_2 = (0, 1, 0)^T$, $e_3 = (0, 0, 1)^T$ とするとき、 $e_1 \times e_2$, $e_2 \times e_3$, $e_3 \times e_1$ を計算して求めよ。

(2) $(a \times b) \times c \neq a \times (b \times c)$ を満たす $a, b, c \in \mathbb{R}^3$ を求めよ。

(3) 3次元空間内の同一直線上にない A, B, C に対して、 $\frac{1}{2}(a \times b + b \times c + c \times a)$ (ただし $a := \overrightarrow{OA}$, $b := \overrightarrow{OB}$, $c := \overrightarrow{OC}$) は、三角形 ABC の面積ベクトルであることを示せ。

解答 (1) ベクトル積の幾何学的特徴づけを使えば、明らかに $e_1 \times e_2 = e_3$. 以下同様に $e_2 \times e_3 = e_1$, $e_3 \times e_1 = e_2$ が得られるが、ここでは「計算で求めよ」ということなので、

$$e_1 \times e_2 = \det \begin{pmatrix} 1 & 0 & e_1 \\ 0 & 1 & e_2 \\ 0 & 0 & e_3 \end{pmatrix} = \begin{vmatrix} 0 & 1 \\ 0 & 0 \end{vmatrix} e_1 - \begin{vmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 0 \end{vmatrix} e_2 + \begin{vmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{vmatrix} e_3 = 0e_1 - 0e_2 + 1e_3 = e_3$$

などとする。

(2) $a = e_1$, $b = e_1$, $c = e_2$ とすると、(1) の結果を使って

$$\begin{aligned} (a \times b) \times c &= (e_1 \times e_1) \times e_2 = \mathbf{0} \times e_2 = \mathbf{0}, \\ a \times (b \times c) &= e_1 \times (e_1 \times e_2) = e_1 \times e_3 = -e_3 \times e_1 = -e_2 \end{aligned}$$

となるので、明らかに $(a \times b) \times c \neq a \times (b \times c)$.

(3) $b - a$ と $c - a$ の作る平行四辺形の一部であり、面積は半分であるから、

$$S := \frac{1}{2} \|(b - a) \times (c - a)\|$$

は面積ベクトルである。ベクトル積の双線形性から、いわゆる展開が出来て、

$$S := \frac{1}{2} (b \times c - b \times a - a \times c + a \times a).$$

ここで反可換性より、 $b \times a = -a \times b$, $a \times c = -c \times a$, $a \times a = \mathbf{0}$ であるから、

$$S = \frac{1}{2} (b \times c + a \times b + c \times a) = \frac{1}{2} (a \times b + b \times c + c \times a).$$